

ISO14001 自己適合宣言書

空知信用金庫は、当金庫の環境マネジメントシステムがISO14001の国際規格に適合していることを自らの責任をもって宣言します。

この宣言のもと、当金庫が行う預金、貸出、付随業務等の事業活動が環境に与える影響を的確にとらえつつ、全役職員が地域の繁栄と活性化に積極的に取り組むことで、これまで以上に環境保全と循環型社会の形成に努めてまいります。

- ・ 適用規格 ISO14001：2004
- ・ 適用範囲 当金庫 本店・本部、空知しんきんビジネスサービス㈱
(北海道岩見沢市3条西6丁目2番地1)

2019年4月1日

空知信用金庫

理事長 熊尾 憲昭

空知信用金庫のISO14001 自己適合宣言に関する第三者コメント

空知信用金庫のISO14001:2004 自己適合宣言に際して、調査等によって確認した事実に基づき第三者の立場から下記のとおりコメントさせていただきます。

記

1. 現状確認方法

構築された環境マネジメントシステムや運用状況について、関連する文書・記録の確認、適用範囲内の主な対象施設訪問、また、環境管理責任者や各部署ご担当者様等へのインタビューに基づき確認させていただきました。

2. 現状確認結果と評価

2004年5月に第三者認証を得てから2016年まで更新していましたが、有益な環境側面としての目標は、ほとんどの部署で本業とリンクし展開されたことから、運用・取組を自主的にできる水準に達したと判断し、外部の第三者認証を2017年に返上しました。返上後は、内部監査の間隔が若干長くなりましたが、直近に実施された内部監査では継続的改善の定着が確認できたため、この度、自己適合宣言されることとなりました。

目標の取組状況は、共通テーマである「電力使用量」「燃料使用量」「廃棄物」の各削減について、適用範囲内で取り組んでいることは元より、適用範囲外としている各営業店舗にも活動を広げ、信用金庫全体に浸透しています。

有益な環境側面としては、信用金庫本来の金融機能を活かした活動である「環境ローン」や「ライフケアローン」等の商品を提供しています。

また、長期経営計画を踏まえ第一次中期経営計画で「重点課題」を洗い出し、年度事業計画の施策で各部に展開し、これらの施策を環境マネジメントシステムの目標として取り組んでいます。このことは、「経営上の要求事項との統合」とされる規格の意図も反映しており大変評価できます。

地域社会への貢献活動としては、信用金庫の原点である「相互扶助」の理念に基づき、地域振興を大前提としていることを十分に認識し、「ふるさと百餅祭り」等の地域イベントへの参加、地域住民や学校での「金融出前講座」の実施、農業者向けの「各種セミナー」の開催をはじめとして、利根別川や川沿い散策路草刈り作業、社会福祉協議会を通じての除雪作業等様々な文化的・社会的貢献活動を展開しており、地域の一員として大いに活躍しています。

3. 今後の課題と期待すること

これまでの内部監査においては、有効性に踏み込んだ内部監査員の指摘が少ないことから、「本業関連をはじめとした各活動の是正・改善処置によるステップアップについて内部監査が充分貢献できたのか・・・」という点に課題が残っています。このためには、内部監査員の教育によるレベルアップが欠かせないことから、今後の対応に期待します。

また、6年後の2025年には創立100周年を迎えますが、自己適合宣言に切り替えたからには、地域社会、会員の皆様、お客様等多くのステークホルダーから一層の満足と信頼を得て、地域の皆様から益々親しまれるように、それぞれの役割、責任、権限に応じ認識を新たにして各々がレベルアップを図り、信用金庫全体の継続的な改善に向け、組織が一体となって確実に取り組まれるよう望みます。

なお、今回の第三者コメントはISO14001:2004 自己適合宣言に対してですが、取組内容や活動等は概ね2015年版のレベルに達しています。今後は不足部分を補い、2015年版に対応された自己適合宣言とされるよう期待します。

上記は環境マネジメントシステムの有効性を保証するものではありません。

2019年3月

SOMPOリスクマネジメント株式会社

(調査担当者: 小嶋 武男 CEAR登録環境審査員 A26459)